

さつまいもの苗植え

5月10日にチャレンジ班（縦割り班）ごとにさつまいもの苗植えを行いました。班ごとにつくられた畝に苗を植えていきました。

次の日から根がつくように子どもと教職員で世話を始めました。子どもたちは朝登校したら苗に水やりをします。その中で苗の様子をじっくり見たり、上級生が下学年に世話の仕方を教えたりする姿が見られます。これから迎える梅雨の時期は、草取りもがんばっていきます。



森の学校へ行きました

5月20日～21日に、5年生が森の学校へ行きました。

前日の出発式で、校長が子ども達に3つの約束をしました。それは、「感謝の気持ちを伝えること」「緊張感を持って活動すること」「友だちや出会う人たちとの絆を深めること」です。子ども達は、この3つの約束を胸に張り切って出発しました。

1日目の天候が心配されましたが、魚つかみ体験と川遊びをすることができました。冷たい水に歓声をあげながら、素早く逃げ回る魚を追いかけしていました。昼食には、とった魚をおいしくいただきました。みんなとてもおいしそうに食べていました。



午後から雨が降り始め、楽しみにしていた林業体験はできませんでしたが、縄ないやロープクライミングの体験ができました。縄ないは、講師に方の教わりながら少しずつコツをつかんで、きれいな縄を作れるようになりました。

ロープクライミングでは、手と足を上手に動かして、天井の梁まで登りました。さすがは身の軽い子ども達、軽々と何度も登っていました。

2日目は、すっきり晴れ渡り、少し暑いくらいでした。民泊先では、それぞれの家でのもてなしに感激したとの声が聞かれました。1泊だけでしたが、よい出会いができたようでした。

かみんぐさじでは、うちわづくりをしました。職員さんの説明を聞きながら、和紙を漉きました。その和紙に模様をつけて、うちわの骨に張りつけます。金魚や花の模様など、涼しげな作品がいくつもできました。



佐治谷話は、茅葺屋根の古民家で体験しました。囲炉裏から立ち上る煙の香りに癒されながら、ゆったりとした時間を過ごしました。

さじアストロパークでは、民泊先で作ったお弁当を食べました。とてもおいしいお弁当でした。

昼食後には、科学実験をしました。空気のない世界では、風船やマシュマロ、水はどうなるか実験しました。空気を抜いた容器の中で、大きく膨らむ風船やマシュマロに驚きの声があがりました。全国で8番目に大きな天体望遠鏡で、昼間の金星やプラネタリウムで星空の様子を観たりすることで、遠い宇宙の神秘に触れることができました。

コロナ禍の中、森の学校が実施できて、本当に良かったです。子ども達はいろいろな体験を通して、自分と向き合い、それぞれの成長とこれからの課題を見つけたことと思います。これからもたくさんの体験を通して、大きく成長していく子ども達に期待して、森の学校を終えました。



【職員紹介】

5月17日より、井上典子先生が着任しました。外国語活動等を中心に子ども達の指導に当たります。よろしくお願いいたします。